

第5期おおむら男女共同参画プラン（案）に係るパブリックコメントの意見の内容と市の考え方

	頁及び区分	ご意見の内容	市の考え方
1	P31~33 基本目標Ⅱ 施策の方向1、2	大村市は長崎大学病院に次ぐ規模の長崎医療センターがあり、多くの女性スタッフが大村市内で働いているため、男女共同参画白書（平成29年版）にもあるように、医療分野における女性の参画拡大についても記述してはどうか？	<p>誰もがその個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現に向けて、性別に基づく固定的な役割分担意識の解消や多様な働き方を実現するための環境づくりが必要です。</p> <p>第5期プランでは、基本目標Ⅱに、女性の医療従事者だけでなく、誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、人生の各段階に応じて多様な働き方ができるよう、「雇用環境の整備とワーク・ライフ・バランスの推進」や、男女が共にライフスタイルを柔軟に選択できるような「子育て支援や介護サービスの充実」を掲げ、取り組んでまいります。</p>
	P42~43 基本目標Ⅲ 施策の方向3	産前・産後母子支援事業に加えて、メンタル面でのサポート機関が増えてほしい。	<p>本市ではこども家庭課の保健師が、妊娠中から出産後の母親の体調管理を含め、乳幼児の発育発達支援や育児相談、子育ての情報提供などを行う産前・産後の訪問指導や、就学前までの乳幼児の健康相談を実施しています。また、国保けんこう課では、保健師・管理栄養士による個別相談や家庭訪問などにより身体面やメンタル面のサポートを行っています。</p> <p>第5期プランでは、基本目標Ⅲに、「生涯を通じた健康づくりの推進」を掲げ、生涯にわたり健康について安心して相談できる体制の充実に向けて取り組んでまいります。</p>